長久手市行政評価票

事業番号	7	事業の名称	広聴事業	担当部署	部	課
					行政経営部	情報課

事業の概要	市民からの意見や提案などを聴くため「ご意見箱」を市内主要施設及び市ホームページに設けている。重要な施策や計画について意見を求める「パブリックコメント制度」も活用している。平成24年度から市民のみなさんと市長が気軽に面談できる場として市役所西庁舎1階に「市政サロン」を設置し、多くの市民が利用している。
他市町の実施状況（近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載）	全ての行政で行っている。

事業期間	事業開始年度	－	終了（予定）年度	－
事業の対象（だれ、何に対して）	市に関わるすべての人			
事業の意図（対象をどのような状態にしたいか）	市政に対する意見・提案等を集め、市政にフィードバックすることで、対象者にとってより良いと感じられる行政サービスを実施する。			

総事業費		H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
総事業費（単位：千円）		－	－	－	－	－
うち	一般財源					
	国費・県費					
	地方債					
	その他					
受益者負担額						

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

	事業を構成する事務事業	目的：対象（だれ、何に対して）	目的：手段（いつ、どのような手段を使って）4月～ 7月～ 10月～ 1月～	目的：意図（対象をどのような状態にしたいか）	事務事業の実施結果	成果：成果指標	成果：H24実績 / H25実績 / H25目標値	単位	成果指標の目標値設定の根拠	事業費（単位：千円）：H24予算 / H25予算 / H26予算	事業費：H24決算 / H25決算	H25決算の主な内訳（単位：千円）	評価：評価 / 事業規模 / 事業費	評価の説明
①	ご意見箱	市に関わるすべての人	常時、市内主要施設に設置のご意見箱及び市ホームページに意見・提案等を寄せてもらうことで ＊新たな提案募集制度も予定	意見・提案等を担当課及び市長に伝えることにより、行政サービスに反映し、より良いと感じる行政サービスを実施していく。		受付件数（年間）	485 522 550	件	ご意見箱の件数は、H23からH24の増加率と同等の伸びとし600件程度、新たな提案募集制度による新規受付分で200件程度とする	－ － －	－ －	－	B 維持 維持	新たに市長への提案ハガキ制度を導入したが、59件だった。 ご意見の件数もH24とほぼ同数であり、目標値を下回った。
②														
③														
④														

事務事業の改善内容		事務事業	改善内容（H26以降に実施する内容）
	①	ご意見箱	ご意見へのレスポンスを公表し、どんな質問にでも回答が来るという認識を広め、意見を出しやすくする。また、市長への提案ハガキの存在についても広くPRしていく

H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要